

「コロナ社会対応ITサービス開発事業」  
外観目視検査のテレワークシステム

 **サイトー株式会社**

2021年 3月 17日

# 外観目視検査工程の課題

生産や出荷は少人数で行えるが、製品の外観目視検査は多人数が必要



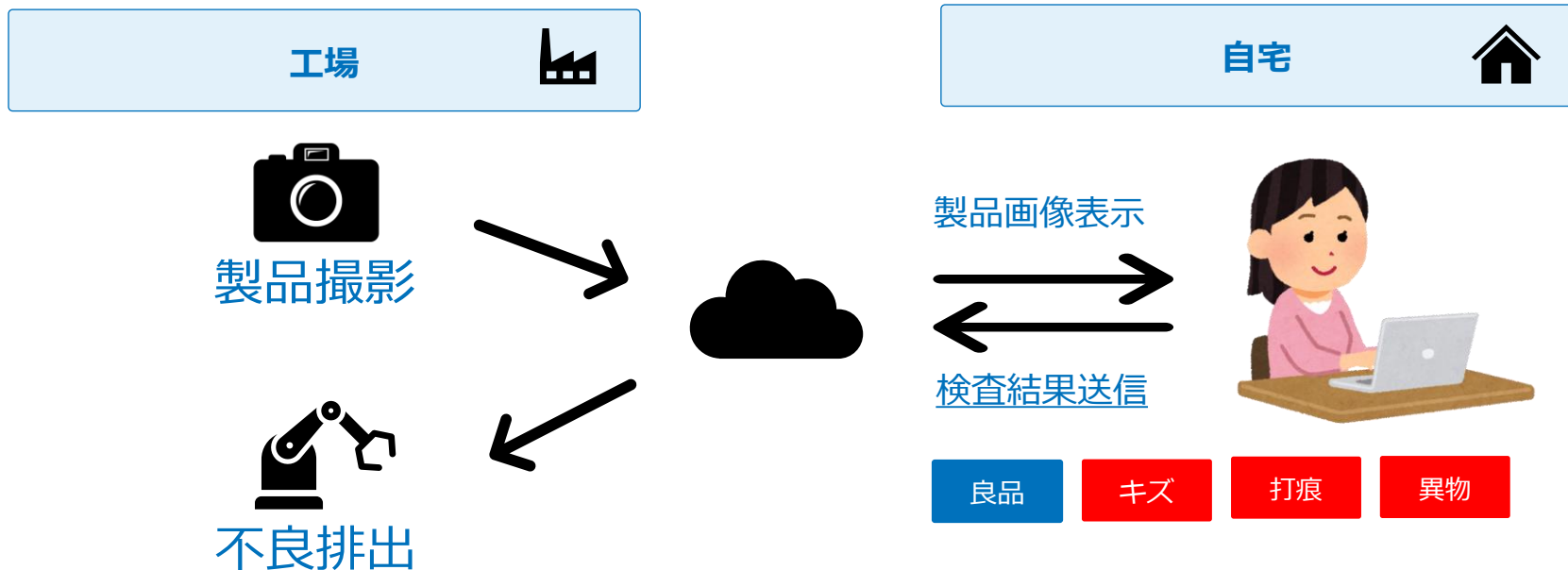
検査作業は人が製品を直接扱うことで成り立つ

課題

コロナ禍で検査員のテレワークが求められ  
遠隔地から製品を検査できるシステムが必要とされる

# システムの概要

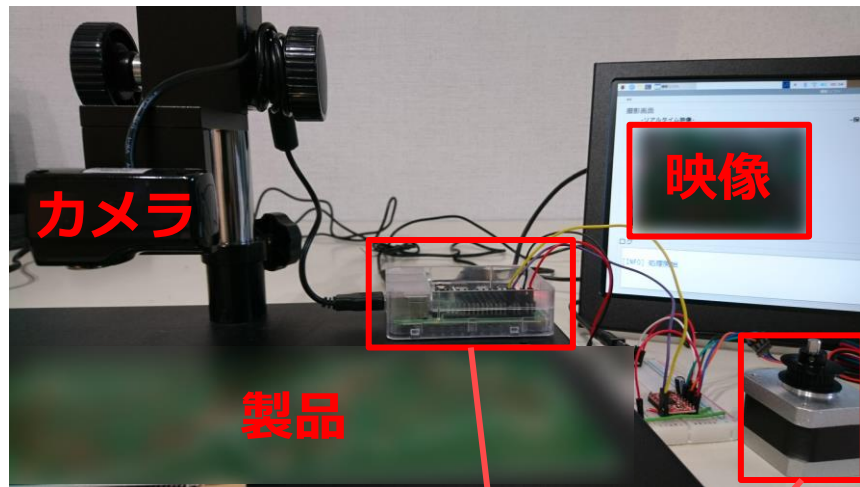
工場に設置されたカメラから取得した製品の画像を、自宅にいる検査員がモニターで観察することで、目視検査が可能となる。



現場（工場）に行くことなく、製品を自宅から検査できる

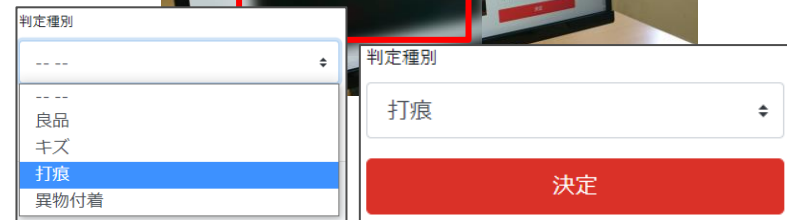
# システムの詳細

撮影制御デバイス (工場) 



コンピュータ モーター

リモート検査アプリ (自宅) 



↑ 検査結果選択・登録 ↑

工場に設置するデバイスと自宅からログインするWebアプリケーションで構成される

# まとめ・今後の改良の方向性

## < まとめ >

本システムによって人が製品を直接扱うことなく、離れた場所から外観目視検査が可能になります。製造業の目視検査員に新たな働き方の選択肢を与えるものとなります。

## < 今後の改良の方向性 >

既存生産設備へのシステム導入のために、設備備え付けのカメラや照明、各種センサーなどの外部機器との連携部分を強化していきます。また、検査範囲外を黒塗りして検査員の視界に余計な情報を入れないようにする、不良の大きさを測定できるようにするなど、画像の目視検査を補助する画像処理機能を追加開発し、オプションやパッケージを充実させ、より製造現場に則したシステムへ改良を重ねていきます。

**ご清聴ありがとうございました**